



ROBOT GUITAR

OWNER'S MANUAL

取扱説明書（日本語解説）

※取扱説明書（日本語解説）と USA 取扱説明書のページ対比につきましては、目次をご参照ください。

はじめにお読みください

使用上のご注意

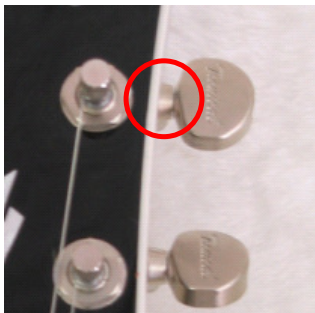
ペグ・ヘッドがロックされた状態で、パワー・ヘッド・ペグを手動で

絶対に回さないでください。故障の原因になります。

自動モード

ペグ・ヘッドがロックされている状態！

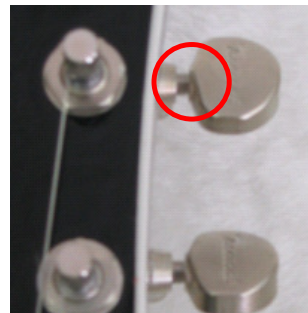
手動でのチューニングは不可！



手動モード

ペグ・ヘッドが解除されている状態！

手動でのチューニングが可能！





ROBOT GUITAR

Index

本説明書

USA説明書

ギブソン・ロボット・ギター	4	24
基本操作	5～7	25～27
チューニング・モード	8～12	30～34
ストリング・アップ / ダウン・モード	13～15	35～37
イントネーション・モード	16～17	38～39
カリブレーション・モード	18～19	40～41
セット・アップ・モード	20～21	42～43
セット・アップ・モードに含まれる機能	22～26	44～48
パワー・ヘッド・ペグ設定	27	49
バッテリー及び充電	28～30	50～52
ショート	30	53

ギブソン・ロボット・ギター

(英語版説明書 24 ページ)

ロボット工学テクノロジーを駆使した世界初のギター、ギブソン・ロボット・ギター誕生。

ギブソン・ロボット・ギターはオート・チューニング機能を搭載した唯一のギターです。

ギブソン・ロボット・ギターは.010”-.046”ゲージの弦を基準に設計されています。弦のゲージの変更、設定の初期化、もしくは自己設定のインストールの際、この説明書のセット・アップ・モード・セクションに記載されている方法でパワー・ヘッド・ペグの設定を個々に実施することが可能です。ただし、各パワー・ヘッド・ペグは、各種変更に伴う各弦の回転数を調整するダイナミック・ランタイム・アルゴリズムにより、自己制御されています。これにより、数回のチューニングを経て、このシステムは自動的に機能するようになります。

ロボット・ギターに搭載されているソフトウェアには、チューニング・プロセスを助ける特殊な **eFunction** アルゴリズムが含まれています。常に **eFunction** をオンのモードでを使用することをお勧めします（初期設定では、オンの状態になっています）。

最良のパフォーマンスを得るため、取扱いについては、この取扱説明書をよくお読みください。製品に関するご質問はギブソン・カスタマー・サービスまでお問い合わせください。

問い合わせ先：

株式会社 GISON GUITAR CORPORATION JAPAN

Email: service.japan@gibson.com Tel: 03-3434-5670

マスター・コントロール・ノブ (MCK)

(英語版説明書 25 ページ)

マスター・コントロール・ノブ(MCK)は、トレブル・ピックアップのトーン・コントロール機能だけでなく、オート・チューニング・システムを含むロボット・ギターの持つ様々な機能を搭載しています。MCK 機能の操作方法は、この説明書の各セクションをご参照ください。

注意：ペグ・ヘッドがロックされた状態で、パワー・ヘッド・ペグを手動で回さないでください。故障の原因になります。

基本操作

ロボット・ギターの MCK は一般的にプッシュ/プル・ノブと呼ばれ、通常はトーン・コントロールとして機能しますが、MCK がアップ・ポジションのとき、システムは稼働します。

MCK がアップ・ポジションのとき、システムは A-440 スタンダード・チューニングに設定されています（初期設定の場合）。ロボット・ギターには6つのプリセット・チューニングが搭載されています。このプリセット・チューニングはご自身で変更することが可能ですが、常に初期設定に戻すことも可能です（22 ページ参照）。

(英語版説明書 26 ページ)

MCK の LED ディスプレイは色でチューニングの状態を表示します。チューニング時に LED ディスプレイは、下図のように表示されます。

チューニング中の LED ディスプレイ表示

状態	LEDの色
チューニングされていない状態	赤
周波数測定中	赤 (点滅)
パワー・ヘッド・ペグ回転中	黄 (点滅)
強いアタックによる無反応	青
周波数の誤作動	紫
各弦がチューニング中	緑
チューニング完了	全LEDが 3 回青に点滅

チューニングのプロセスで、ギターの出力は若干音がでる設定になっています。MCK をプッシュ・ポジションに戻すと、ボリュームは元の音量に戻ります。

※チューニング中に音が出力されないようにするためには、ボリューム・コントロールをゼロにしてください。

事前注意

(英語版説明書 27 ページ)

- ペグ・ヘッドがロックされた状態で、パワー・ヘッド・ペグを手動で回さないでください。故障の原因になります。
- ペグ・ヘッドの機械部分、パワー・ヘッド、ボディ CPU は絶対に開けないでください。保証の対象になりかねることがあります。
- チューニング中は、弦に触れないようにしてください。システムが完全に稼動するためには、開放弦で弾く必要があります。
- チューニングをする際やピッチを読み取る際に、弦を必要以上に強く弾く必要はありません。ベスト・パフォーマンスを得るためには、弦はやさしく弾くようにしてください。
- テイルピースが落下し、コネクターが損傷する可能性がありますので、すべての弦を交換する際、すべての弦を一度に切ることは避けてください。

チューニング機能とディスプレイ・モード

(英語版説明書30ページ)

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
初期稼動 チューニング (440Hz EADGBE 初期設定)	MCKをアップ・ポジションにする	全弦LEDが赤色に点灯  ♭と#が赤色に点灯	すべての弦を軽く弾く	弦を弾いている間、パワー・ヘッド・ペグはチューニングを開始し、個々の弦はチューニングされると緑色に点滅し、完了するとすべてのLEDが青色に3回点滅。青色に点滅したらMCKをダウン・ポジションにし、解除してください。
レギュラー チューニング 440Hz EADGBE	MCKをアップ・ポジションにし、0まで回す(逆時計回り)	 E LEDが青色に点灯	ディスプレイを 1回押し、 ♭、#及び全弦LEDが 赤色に点灯	上記参照
Eメジャー チューニング 440Hz EBEG#BE	MCKをアップ・ポジションにし、LED Eのポジションまで回す		上記参照	上記参照

(英語版説明書31ページ)

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
DADGAD チューニング 440Hz DADGAD	MCKをアップ・ポジションにし、LED Aのポジションまで回す	LED Aが青色に点灯  LED Dが青色に点灯	ディスプレイを 1回押し、 ♭、＃及び全弦LEDが 赤色に点灯	弦を弾いている間、パワー・ヘッド・ペグはチューニングを開始し、個々の弦はチューニングされると緑色に点滅し、完了するとすべてのLEDが青色に3回点滅。青色に点滅したらMCKをダウン・ポジションにし、解除してください。
Drop D チューニング 440Hz DADGBE	MCKをアップ・ポジションにし、LED Dのポジションまで回す	 LED Gが青色に点灯	上記参照	上記参照
Delta Blues チューニング 440Hz DGDGBD	MCKをアップ・ポジションにし、LED Gのポジションまで回す		上記参照	上記参照

(英語版説明書32ページ)

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
E Flatチューニング 440Hz E ♭ A ♭ D ♭ G ♭ B ♭ e ♭	MCKをアップ・ポジションにし、LED Bのポジションまで回す	LED Bが青色に点灯 	ディスプレイを 1回押し、 ♭、#及び全弦LEDが 赤色に点滅	弦を弾いている間、パワー・ヘッド・ペグはチューニングを開始し、個々の弦はチューニングされると緑色に点滅し、完了すると全LEDが青色に3回点滅。青色に点滅したらMCKをダウン・ポジションにし、解除してください。
Double Dropped D チューニング 440Hz DADGBD	MCKをアップ・ポジションにし、LED eのポジションまで回す	LED eが青色に点灯 	上記参照	上記参照

(英語版説明書33ページ)

Function	Display LEDs	Action	Remarks
チューニング基準 (基準ピッチの チューニング)	LED Iが赤色に点灯 	ピッチ基準を変更したい パワー・ヘッド・ペグをブ ル・アップします。この弦 をお好みのチューニング 基準に合わせてチューニ ングします。ペグを元に戻 します。ディスプレイを押 してチューニングを開始し ます。Iの文字が緑色に点 灯、全弦LEDが赤色に点 灯します。 	ピッチ基準を変更した弦を弾きます。その弦のLEDが 緑色に点灯すると周波数が設定され、保存されま す。その後、すべての弦を弾き、パワー・チューン・シ ステムは選択したピッチでチューニングをします。 (LEDは通常のチューニングと同じように作動します) チューニング基準が完了すると、Iが青色に点滅しま す。 新しい、チューニング基準を保存したい場合、MCKを 初期設定のお好みのプリセットのポジションに回し (E, A, D, G, B又はe)、ディスプレイを1回押します。 LEDが青色に3回点滅したらお好みのチューニング 基準がそのポジションで保存されたことを表します。 他に設定する場合も同じように作動します。 チューニング基準を必ずしも、保存する必要はありま せん。単純にMCKをダウン・ポジションに戻し、演奏 を開始してください。
MCK Position			
MCKをアップ・ポジション にし、LED Iのポジションま で回す 			

(英語版説明書34ページ)

Function	Display LEDs	Action	Remarks
チューニングの 自己設定		お好みのチューニングを作るために各パワー・ヘッド・ペグをプル・アップし、手動でお好みのピッチに合わせます。ディスプレイを1回押し、ペグLEDは緑色に点灯、弦LEDは赤色に点灯します。その後、各弦を弾き(強く弾かないでください)、周波数が設定、保存されるとLEDは緑色に点灯します。	お好みのチューニングが設定された後、弦LEDは3回点滅します。プリセット・ポジションのいずれかに保存できます。E, A, D, G, B, eを選択し、ディスプレイを1回押します。お好みのチューニング設定ディスプレイがそのポジションに保存されるとLEDは青色に3回点滅します。他に設定する場合も同じように作動します。 お好みのチューニングを保存した場合、選択したプリセット・ポジションに上書きされます。
MCK Position			
MCKをアップ・ポジションにし、ペグLEDのポジションまで回す ペグLEDが赤色に点灯			

ストリング・アップ / ストリング・ダウン モード (弦の張替え)

(英語版説明書35ページ)

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
ストリング・アップ・モード	MCKをアップ・ポジションにし、矢印LEDのポジションまで回す 	矢印LEDとLED #は緑色に点灯 	ディスプレイを3秒間押すと、ストリング・アップ・モードが稼動します。	パワーヘッド・ペグは通常のチューニングに近くなるまで、弦を巻きます。回転がストップしたら、ノーマル・チューニング・モードでチューニングを完了してください。
ストリング・ダウン・モード	MCKをアップ・ポジションにし、矢印LEDのポジションまで回す 	矢印LEDとLED #は緑色に点灯 	ディスプレイを1回押し、矢印が緑色から赤色に変わりストリング・ダウン・モードに切り替えます。この状態でディスプレイを3秒間押すと、ストリング・ダウン・モードが稼動します。	パワーヘッド・ペグはすべての弦を緩めます。回転がストップしたら、ポストをアンロックし、弦をはずしてください。

弦の張替え

(英語版説明書 36 ページ)

最初にすべてのペグ・ヘッドが外側に引いた状態であることを確認してください。そして、ペグ・ポスト・ホールが各弦と直線上になるまで各ペグを回してください。

各弦をテイルピースに通し、サドルの上から（弦とサドルは必ず接触してなければなりません）ナット・スロットまで張り、ペグ・ポスト・ホールに通してください。ペグ・ポスト・ホールをロックする前に弦を引っ張り、ある程度テンションを加えるようにしてください。ペグ・ポスト・ホールをロックした後、余分な弦を切ってください（各弦が他の弦に触れると誤作動の原因となる場合があります）。

この状態でストリング・アップ・モードに入ります。MCK を矢印 LED のポジションまで回します。このとき LED は緑色に点灯します。ディスプレイを 3 秒間押し続けた後、各弦は正確なピッチになるまで自動的にチューニングされます。テンションが弱い場合は、ノーマル・チューニング・モードである程度テンションを加えてください。

注意：テイルピースが落下し、コネクタが損傷する可能性がありますので、すべての弦を交換する際、すべての弦を一度に切ることは避けてください。

各弦のストリング・アップ・モード操作 1本の弦を交換する場合 (英語版説明書 37 ページ)

最初に前のページに記載のとおり、弦を張ってください (弦とサドルは必ず接触してなければなりません)。MCK を矢印 LED のポジションまで回し、ディスプレイを 2 回押し、緑色から赤色に、そして再び緑色になるように切り替え、MCK を交換する弦のポジションまで回してください。そして、ディスプレイを 3 秒間押してください。選択した弦のパワー・ヘッド・ペグがノーマル・チューニングになるぐらいまで回り始め、止まったら、ノーマル・チューニング・モードで正確に合わせてください。

イントネーション・モード（ノーマル・チューニング440Hzで演奏することをお勧めします）（英語版説明書38ページ）

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
イントネーション・モード	MCKをアップ・ポジションにし、LED 1のポジションまで回す	LED 1が青色に点灯	ディスプレイを3秒間押し、イントネーション・モードを移動します。	
				
				
				
				
			LEDが緑色に点灯するまで調整する弦を弾きます。 例、D	
			2秒後にLED bが消えLED #が緑色に点灯	
			同じ弦を12フレット上で弾きます。	

(英語版説明書39ページ)

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
イントネーション・モード	イントネーション調整をする弦のポジションにMCKを合わせます。	LED IIは青色に点灯   	緑色LEDの点灯数は時計回りに半回転することを意味します。左図の例は5半回転時計回り 赤色LEDの点灯数は逆時計回りに半回転することを意味します。左図の例は6半回転逆時計回り	点滅しているコードはイントネーション・スクリューの修正を表し、LED1つの点灯が半回転を意味します。 例、  ICEA =5半回転時計回り  eBGDA =6半回転逆時計回り イントネーション・モードを繰り返し各弦を調整します。イントネーション修正された弦は青色にLEDが点灯します。

(英語版説明書40ページ)

Function	Display LEDs	Action	Remarks
カリブレーション・モード	LED Cが赤色に点灯 	ディスプレイを3秒間押し、カリブレーション・モードに入ります。LED Cは青色に点灯します。この状態でMCKを右のリストからお好みの周波数を選び、回します。(注意: お好みの周波数を選択する際にディスプレイを押し、赤色のLED #をオン/オフに切り変えてください。他のLEDは青色のままになります。)	435Hz = C and E LED blue 436Hz = C and E LED blue, # LED red 437Hz = C and A LED blue 438Hz = C and A LED blue, # LED red 439Hz = C and D LED blue 440Hz = C and D LED blue, # LED red 441Hz = C and G LED blue 442Hz = C and G LED blue, # LED red 443Hz = C and B LED blue 444Hz = C and B LED blue, # LED red 445Hz = C and e LED blue 446Hz = C and e LED blue, # LED red
MCK Position			
MCKをアップ・ポジションにし、LED Cのポジションまで回す			

カリブレーション・モード (補足)

(英語版説明書 41 ページ)

カリブレーション・モードでご自身のお好みの設定にした後、ディスプレイを3秒間押してください。そして、チューニングを選択し、弦を弾きます。各チューニングはグローバル・カリブレーション・オフセットが適用されます。

グローバル・カリブレーション・オフセットを確認するには、MCK をアップのポジションにし、LED C のポジションで3秒間押してください。

ヘルツを表示 (LED は矢印の順に点滅します)

赤色=100 の位 / 緑色=10 の位 / 青色=1 の位 / 黄色=0 (1 の位が 0 の場合)

例 440Hz: 赤色 LED が4つ → 緑色 LED が4つ → 黄色 LED が1つ

例 436Hz: 赤色 LED が4つ → 緑色 LED が3つ → 青色 LED が6つ → 赤色 LED が回転
(440Hz コンサート・ピッチより低い)

例 445Hz: 赤色 LED が4つ → 緑色 LED が4つ → 青色 LED が5つ → 緑色 LED が回転
(440Hz コンサート・ピッチより高い)

セット・アップ・モード（セット・アップ・モードの入り方、解除の方法）

（英語版説明書42ページ）

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
セット・アップ・モード設定	MCKをアップ・ポジションにし、0まで回します。（逆時計周りに）	♭と＃は赤色に点灯 	ディスプレイを3秒間押します。ディスプレイが青色に変わったら、ディスプレイ・ボタンから手を離します。そして、再び3秒間押します。3回点滅し、消えます。ペグLEDは白色に点灯、＃と♭は赤色に点灯します。これでセット・アップモードに入ります。	セット・アップ・モードに入る最初のステップになります。

(英語版説明書43ページ)

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
セット・アップ・モード解除 (保存・変更なしの場合)	MCKをダウン・ポジションに戻します。		セット・アップ・モードがオフになります。	これでセット・アップ・モード解除になります。
セット・アップ・モード解除 (保存・変更ありの場合)	最後に使用したセット・アップ・モードのポジションになります。	LEDが青色－緑色に3回点滅 	セット・アップ・モード機能が適用	セット・アップ・モード機能が保存

セット・アップ モードに含まれる機能

(英語版説明書44ページ)

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
初期設定に戻す	セット・アップ・モードに入りLED Dのポジションまで回す。	LED Dが青色に点灯し、ベグLEDは白色に点灯。 	ディスプレイを1回押し、初期設定に戻ります。	初期設定に戻すと次のようになります。 ・プリセット・ポジションが初期設定になります。 ・Runtime Correction Dataが初期設定になります。 ・Dynamic Runtime Correctionがスイッチ・オンになります。 ・eFunction Correctionがスイッチ・オンになります。 ・チューニング正確性が6回中4回に設定 ・カリブレーション・データが初期設定になります。
ソフトウェア・リリースの表示	セット・アップ・モードに入りLED Eのポジションまで回し、ディスプレイを押します。	ベグLEDは点滅し、ソフトウェア・リリース・エディションを表します。	ディスプレイを1回押し、ベグLEDは点滅します。	赤色 = メジャー・リリース・ナンバー 緑色 = マイナー・リリース・ナンバー 青色 = リヴィジョン・レベル 例、ソフトウェア・リリース 2, 3, 5は赤色が2回点滅、緑色が3回点滅、青色が5回点滅し、表示されます。

(英語版説明書45ページ)

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
グローバル・カリブレーション・オフセット オン/オフ	セット・アップ・モードに入り、LED Cのポジションまで回し、ディスプレイを1回押します。	LED Cは青色に点灯し、ベグLEDは白色に点灯。   	MCKを逆時計周りに回し、グローバル・カリブレーションをオフにします。 赤色LED ! はオフを示します。 MCKを時計周りに回し、グローバル・カリブレーションをオンにします。緑色LEDはオンを示します。 ディスプレイを1回押し、保存します。	カリブレーション・モードがオンのとき、お好みの周波数はすべてのプリセットに適用されます。

(英語版説明書46ページ)

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
最後に使用したチューニングを初期稼働時に設定	セット・アップ・モードに入り、矢印LEDのポジションまで回し、ディスプレイを1回押します。		MCKをLED Iのポジションまで回し、ディスプレイを1回押します。 	最後に行ったチューニングが起動の際に移動します。
初期稼働時のチューニング設定	セット・アップ・モードに入り、矢印LEDのポジションまで回し、ディスプレイを1回押します。		プリセットのどれか1つを選び、MCKをそのポジションまで回し、ディスプレイを1回押します。 	お好みのプリセット・チューニングが起動の際に移動します。

(英語版説明書47ページ)

Function	Display LEDs	Action	Remarks
スピード/精度 セッティング	ペグLEDは白色に点灯、 Aは青色に点灯。 	ディスプレイを1回押します。現在のスピード・セッティング及び正確性はLEDが緑色に点滅し、表示されます。(右記参照)	パワー・チューン・システムは0.2セントの精度でピッチを調整することができます。しかし、この精度はチューニングにやや長い時間を必要とします。そのためライブ使用においてはより低い精度設定をお勧めします。精度設定には6段階の種類があります。工場出荷設定は最も実用的な約1セントの精度に設定されています(4つのLEDが緑色に点滅)。この精度を低くすることで、ライブ使用に適したチューニングの時間をより短縮した設定が可能です。また精度を最も高くすることで、スタジオ使用に適したより正確な設定が可能です。設定の変更はMCKを回して行います。最も精度の高い設定(0.2セント)は6つのLEDが緑色に点灯。最も精度の低い設定(最もチューニング時間が短い設定)は緑色のLEDが1つ点灯し表示されます。最も精度の低い設定でもチューニングの精度は2.5セントとなります。選択した設定は、ディスプレイを1回押すことで保存され、自動的にセット・アップ・モードが解除されます。
MCK Position			
セット・アップ・モードに入り、LED Aのポジションまで回します。			

セット・アップ モードに含まれる機能

(英語版説明書48ページ)

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
ダイナミック・ランタイム・コントロール オン/オフ (DRC)	セット・アップ・モードに入り、LED Gのポジションまで回し、ディスプレイを1回押します。	#は緑色に、bは赤色に、LED Gは青色に、ペグLEDは白色に点灯します。 	MCKを左に回し、DRCをオフにします。MCKを右に回し、DRCをオンにします(時計周り)。その後、ディスプレイを1回押し、保存してください。	DRCがオンのとき、#は緑色に、オフのときはbが赤色に点灯します。
eFunction 修正 オン/オフ	セット・アップ・モードに入り、LED Bのポジションまで回し、ディスプレイを1回押します。	#は緑色に、bは赤色に、LED Bは青色に、ペグLEDは白色に点灯します。 	MCKを左に回し、eFunctionをオフにします。MCKを右に回し、eFunctionをオンにします(時計周り)。その後、ディスプレイを1回押し、保存してください。	efunctionがオンのとき、#は緑色に、オフのときはbが赤色に点灯します。

パワー・ヘッド・ペグ設定

(英語版説明書 49 ページ)

ギブソン・ロボット・ギターは.010”-.046”ゲージの弦を基準に設計されています。弦のゲージの変更、設定の初期化、もしくは自己設定のインストールの際、下記に示すモーター・カリブレーション・モードを用い、マニュアルでパワー・ヘッド・ペグの設定を個々に実施することが可能です。ただし、各パワー・ヘッド・ペグは、各種変更に伴う各弦の回転数を調整するダイナミック・ランタイム・アルゴリズムにより、自己制御されています。これにより、数回のチューニングを経てこのシステムは自動的に機能するようになります。

パワー・ヘッド・ペグのマニュアル設定

セット・アップ・モードで **MCK** を **LED I** のポジションまで回し、ディスプレイを押します。ペグ **LED** と **LED I** は白色に点灯します。この状態でパワー・ヘッド・ペグの設定が可能になります。

最初に、設定するパワー・ヘッド・ペグのポジションまで **MCK** を回し（選択した弦の **LED** は青色で表示されます）、ディスプレイを1回押します。弦を弾きます（**LED** は赤色と緑色に交互に点灯します）。2， 3 秒間間隔を開け、再び弦を弾いてください。パワー・ヘッド・ペグの設定が完了するまでこの作業を繰り返してください。**LED** の点灯表示が選択した弦から他の弦に変わると、最初に選択したパワー・ヘッド・ペグの設定は完了となります。

バッテリー及び充電

(英語版説明書 50 ページ)

ロボット・ギターには充電式バッテリー・パックが搭載され、専用の充電システムを備えています。

バッテリーの残高レベルを確認するには、チャージ・モードを使用します（次ページ参照）。バッテリーがフル・チャージのとき、約200回のチューニングが可能です。システムがオンになっている状態で1分間以上使用しない場合、バッテリーは自動的にオフになります。充電する際は、ボディ CPU を開ける必要はなく、ギター本体をシールドで充電器につないで充電をします。充電するときは、短いシールドを使用することをお勧めします。

バッテリー・レベル

MCK をアップ・ポジションにしたとき、バッテリー・ディスプレイが赤色に点滅した場合は、充電の必要性を表しています。

(英語版説明書51ページ)

Function	MCK Position	Display LEDs	Action	Remarks
チャージ・モード	MCKをアップ・ポジションにし、LED Cのポジションまで回した後、ディスプレイを押します。	現在のチャージ・レベルは約3秒間表示されます。緑色LEDがいくつ表示されるかで、バッテリーのレベルが表示されます。(1から10) 	MCKのバッテリー表示が赤色に点滅している場合、充電が必要であることを示します。ACアダプターを充電器に接続すると、充電器は赤色に点滅します。充電器をギターに接続すると、充電が開始されます。緑色が点滅すると充電が開始されたことを示し、緑色のLEDはチャージ・レベルを表します。充電器のLEDも緑色に点滅します。	最良のパフォーマンスを得るためには、8から10のレベルの充電状態が最適です。完全に充電された状態では充電器が青色に点灯します。MCKをダウン・ポジションに戻して充電は完了となります。完全に充電するには約90分要します。 ※MCKのディスプレイは自動的に消えません。

緊急チャージ・モード (EMERGENCY CHARGE MODE)

(英語版説明書 52 ページ)

バッテリーが完全に消耗した場合、緊急チャージ・モード(ECM)が機能します。MCK を C のポジションまで回します。シールドを充電器に接続し、電源につながます。充電器が赤色に点滅します。しばらくすると LED が黄色に点滅し、ギターを充電器に接続することができます。充電器は通常のチューニングができるくらいの十分なチャージを供給します。チャージング・モードになるまでの時間はバッテリーの残高レベルにより左右されます。(10 秒から数分) ECM が完了したら、システムは通常どおり稼動します。

自動オフ・モード

MCK が 2 分間オンの状態が続くと、LED は緑色に点滅し、システムがスイッチ・オフ・モードに切り変わります。システムがスタンバイ・モードになって 30 分たつと、黄色にゆっくりと点滅します。システムを再稼動するには、MCK を回します。**注意：バッテリーの消耗と緊急チャージ・モードの稼動を防ぐために、MCK をアップ・ポジションの状態で保管することはお勧めしません。**

ショート

(英語版説明書 53 ページ)

ヘッドストック上で、ペグ・ポスト・ホールから先の余分な弦が適切に切られていずに、他の弦に接触することでショートが発生する場合があります。ショートが発生した場合、ペグ LED が白色（低音弦から高音弦の場合）もしくは黄色（高音弦から低音弦の場合）に点滅して表示されます。各弦が他の弦に触れていないかご確認ください。

Gibson[®]
USA

ROBOT GUITAR



株式会社 GIBSON GUITAR CORPORATION JAPAN